

The 50th
anniversary



木更津高専

創立50周年記念事業 募金趣意書

時を越えて受け継がれる知恵と技



木更津工業高等専門学校創立50周年記念事業実施委員会

木更津工業高等専門学校

創立50周年記念事業ご支援のお願い

独立行政法人国立高等専門学校機構
木更津工業高等専門学校
校長 前野 一夫



謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より本校の発展にご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

本校は国立工業高等専門学校として昭和42年(1967年)に木更津市に創立され、平成29年に50周年を迎えることとなりました。設立当初は機械工学科、電気工学科および土木工学科の3学科で発足いたしました。我が国の高度成長や電子・情報化に代表される時代の変遷に伴い、新たな分野の人材育成と産業界からの多様な人材要請に応えるため、幾度かの改組と学科新設を行なってきました。また平成16年には国立高専の独立行政法人化により、全国立高専が一つの国立高専機構に所属する組織体制となりました。現在、本校は機械工学科、電気電子工学科、電子制御工学科、情報工学科、環境都市工学科の5学科体制となり、さらに平成13年に新設された3専攻を加えて、千葉県下有数の国立高等教育機関として充実した教育体制となっております。

本校では、幅広い教養を基本として、自ら考え自主的に決断する判断力、自ら工夫し新しいものを造り出す創造力、自ら良しとしたことをいかなる障害にも屈せずに行なう実行力の三つの能力を備えたすぐれた人間形成、科学技術における専門分野の根本の原理と最新の成果を修得し広範に活躍しうる技術者の養成、一人一人の身体の鍛錬と豊かな情操の育成を教育方針とし、平成28年3月までに本科6,827名の卒業生、専攻科466名の修了生を社会に送り出してきました。今後はさらに、「工学三現三理」(現場、現物、現況に深く立脚し、理論、理解、理想を忘れず)に基づく実践的技術者教育に加えて、グローバル化に対応して国際社会や産業と連携し「ものごとの本質に迫り、創造性を育む」教育を推進する国立高等教育機関として、高度な社会的要請に応えるために、地域・地方と連携する「地(知)の拠点」として国内外の技術開発交流の促進と人材育成に取り組んでまいります。

本校に寄せられましたこれまでのご支援に感謝し、今後、より一層の飛躍を図るため、このたび創立50周年記念事業を計画し実施することといたしました。つきましては創立50周年記念事業の成功と本校の発展のために皆様方の幅広いご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様方のますますのご健勝とご発展をお祈り申し上げます。

謹白

木更津工業高等専門学校同窓会長 中村 和正

同窓生の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

昭和42年6月の開校から50年目の平成29年6月に、学校創立50周年を迎えることとなりました。この間に、10、20、30周年の節目の年には、同窓会といたしましても記念事業に対して協力・支援をさせていただきました。

平成29年11月に挙行される創立50周年記念事業は、学校にて開設された学校長を委員長とする実施委員会に、同窓会、後援会、技術振興交流会の各団体の代表者が委員として加わり、行事に参画することとなりました。

本年5月に、第一回拡大実施委員会が開かれ、開催日、会場、事業の概要、募金要項ほかの大綱が決定されました。

平成28年3月までに同窓会正会員数は6,700余名となり、会員の皆様方からの募金へのご賛同を賜りたく存じます。みなさま方おひとり一人のご寄附により本事業が成り立つということをご理解して頂きたいと思ひます。

昭和47年の同窓会発足時から、私自身は副会長、会長の任を務めてまいりました。

同窓会活動の集大成として、役員一同この記念行事が成功裡に導かれることが出来ますように祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

木更津工業高等専門学校後援会長 大藪 恵美子

木更津工業高等専門学校は、平成29年6月をもちまして創立50周年を迎えます。関東信越地区国立高専の7番目の学校として昭和42年6月に千葉県の本更津の地に創設されて以来これまでに卒業生6,827名、修了生466名を社会に送り出しております。

本校が50年という大きな節目を迎えられることは、社会の変化に適應できる人間形成・専門の科学技術の修得・心身の鍛錬の3つの教育方針が揺ぎのない輝かしい伝統として継承されてきた賜物であると信じております。

今後とも本校の更なる飛躍、発展のため後援会といたしましても引き続き学生生活、課外活動等の助成と支援を進めて参りますのでご理解とご協力をお願い申し上げます。

本校の益々の発展を祈念するとともに併せて創立50周年記念事業に向けて後援会も全面的な支援、協力を努めて参ります。関係各位の方々をはじめ広く地域社会の皆様方に置かれましても趣旨へのご理解とご賛同、ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

木更津工業高等専門学校技術振興交流会会長 長野 史郎

木更津工業高等専門学校は、平成29年に創立50周年を迎えます。

同校は、千葉県の中央に位置する本更津市において、理工系高等教育機関として優秀な技術者を輩出するとともに、研究機関として企業の技術相談、共同研究等を通じて地域に根付いています。技術振興交流会としても、さまざまな職種の企業が会員となって、テクノフォーラムを始め、地域の子供たちにもものづくりの楽しさを知っていただくキッズサイエンスフェスティバルを開催し、未来の技術者育成の一端を担っております。

技術振興交流会といたしましても、創立50周年記念事業を機に、今後ますます学校と地域、企業との連携を深め、更なる産業界の発展を期するものであります。

会員の皆様はもとより、各企業の皆様、どうか学校の発展のため、地域発展のために創立50周年記念事業への絶大なるご支援・ご協力をお願い申し上げます。

創立50周年記念事業の概要

1. 記念式典、記念講演会等の開催

平成29年11月18日(土)に創立50周年記念式典及び記念講演会、祝賀会を予定しております。ご来賓、同窓生及び関係者の方々にご列席いただき、在校生・教職員とともに創立50周年を祝いたいと考えています。

2. 記念誌の刊行

記念事業の一環として、本校の歩んだ半世紀の歴史について具体的な記録を収めた記念誌を編纂・刊行いたします。併せて記録を電子データにより記念CD-ROMにまとめて配布いたします。

3. 学生支援等基金の創設

社会のニーズを踏まえた実践的・創造的技術者の育成環境の充実や国際交流の推進に向けた学生支援等基金を整備いたします。

4. シンボルマーク(ロゴマーク)の制定

50周年を機に、伝統ある校章に加えて新時代に向けて木更津高専への愛着をさらに深めることができるようなシンボルマーク(ロゴマーク)を公募により制定いたしました。



募金要項

①募金期間 平成28年8月から

②募金種別 **個人寄附1口 5,000円**
・寄附者には、「記念CD-ROM」を贈呈
・4口以上の場合には「記念誌(冊子)」も贈呈

法人寄附1口 10,000円
・寄附者には、「記念CD-ROM」を贈呈
・5口以上の場合には「記念誌(冊子)」も贈呈
※複数口でのご協力をお願いいたします。

③募金の対象

- (1)木更津工業高等専門学校同窓会会員
 - (2)木更津工業高等専門学校後援会会員
 - (3)教職員及び元教職員
 - (4)本記念事業にご賛同いただける法人等(企業・団体等)及び個人
-

④申込及び振込方法

ゆうちょ銀行をご利用の場合には同封の払込取扱票をご利用ください。千葉銀行をご利用の場合には入金連絡票(本校ホームページから様式をダウンロードできます)を送付のうえ、下記口座にお振込み願います。

なお、恐れ入りますが、振込手数料はご負担いただきますようお願いいたします。

◎振込口座

- ゆうちょ銀行 振替口座 00120-0-634792
(口座名義)木更津工業高等専門学校
- 千葉銀行 木更津支店 普通預金 3631624
(口座名義)木更津高専

振込に関するお問い合わせ先

木更津工業高等専門学校 総務課予算管理係

Tel/0438-30-4023 Fax/0438-30-4033 E-Mail/50th@a.kisarazu.ac.jp

⑤ 寄附行為に対する税制上の優遇措置

所得税法上の寄附金控除の対象となる特定寄附金(所得税法第78条第2項第2号)及び法人税法上の全額損金算入が認められる寄附金(法人税法第37条第3項第2号)として財務大臣から指定されています(昭和40年大蔵省告示第154号(最終改正:平成16年3月31日財務省告示第178号))ので、税法上の優遇措置を受けることができます。

具体的には、次のような税法上の優遇措置が講じられます。

【寄附者が個人の場合】

- ・所得税 2,000円を超える部分については、当該年度所得の40%を限度に当該年度からの控除を受けられます。(確定申告が必要です。)
- ・住民税 都道府県民税及び市町村民税につきましては、各都道府県、市町村の条例により控除を受けられる場合があります。
詳しくは、住所地の市町村にお問い合わせください。

【寄附者が法人の場合】

寄附金の全額を損金に算入することができます。

【寄附金控除を受けるための手続き等について】

所得税の確定申告時に、金融機関が発行する「振替払込請求書兼受領書」「払込金(兼手数料)受取書」または本校が発行する「領収証書」を添えて所轄の税務署に「確定申告書」を提出してください。

所得税の確定申告をせず、住民税の寄附金控除のみ受ける場合は「道府県民税・市町村民税寄附金税額控除申込書」に「振替払込請求書兼受領書」等または「領収証書」を添えて住所地の市町村に提出してください。

⑥ 寄附者の顕彰等

個人10口、法人20口以上のご寄附をいただいた方には、記念誌を贈呈するとともに記念銘板に御芳名、法人名を記載し、末永く顕彰させていただきます。

個人情報取り扱いについて

ご寄附に伴い取得しました個人情報については、創立50周年記念事業に使用させていただくとともに、本校の規則に基づき、厳正に管理いたします。

木更津高専の沿革

- 昭和42年 6月 機械工学科・電気工学科・土木工学科を創設
開校式並びに第1回入学式挙行
- 昭和43年 6月 第1期工事竣工
- 昭和44年 3月 第2期工事竣工
- 昭和45年 3月 第3期工事及び武道場竣工
- 昭和51年11月 図書館竣工
- 昭和52年11月 創立10周年記念式典挙行
- 昭和57年 3月 学友会館竣工
- 昭和58年 1月 第2体育館竣工
- 4月 電子制御工学科新設
- 昭和59年 2月 第2研究実験棟竣工
- 昭和60年 3月 寄宿舎(雄峰寮)増築
- 昭和62年11月 創立20周年記念式典挙行
- 昭和63年 3月 講義棟竣工
- 平成 2年 4月 情報工学科新設
- 平成 4年 3月 第3研究実験棟竣工
- 平成 6年 4月 土木工学科を環境都市工学科に改組
- 平成 9年11月 創立30周年記念式典挙行
- 平成12年 3月 女子寄宿舎棟(なのはな寮)竣工
- 4月 電気工学科を電気電子工学科に改称
- 12月 地域共同テクノセンター新設
- 平成13年 4月 専攻科設置
- 平成15年 8月 総合教育棟竣工
- 平成16年 4月 独立行政法人国立高等専門学校機構木更津工業高等専門学校となる
- 平成18年 5月 「生産システム工学」プログラムが日本技術者教育認定機構(JABEE)の認定を受ける
- 平成19年 3月 平成18年度高等専門学校機関別認証評価を受審し、高等専門学校評価基準を満たしていると
大学評価・学位授与機構によって認定される
- 平成20年10月 高専機構本部事務局の組織等に関する規則の改正に基づき、教育研究支援センターを設置
- 平成24年 3月 女子寄宿舎(なのはな寮)増築
- 平成25年 3月 図書館とネットワーク情報センターを融合した改修を行い、「図書・ネットワークセンター棟」に改称
- 平成26年 3月 平成25年度高等専門学校機関別認証評価を受審し、高等専門学校機関別認証評価基準を
満たしていると大学評価・学位授与機構によって認定される

創立50周年記念事業に関するお問い合わせ先



独立行政法人国立高等専門学校機構
木更津工業高等専門学校 総務課

〒292-0041 木更津市清見台東2-11-1
Tel/0438-30-4000 Fax/0438-98-5717
E-Mail/50th@a.kisarazu.ac.jp